

国内事業・開発教育ご担当者様

NGO-JICA 協議会
開発教育推進のためのタスクフォース

NGO、市民団体における開発教育に関するアンケート調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご活躍のことと拝察申し上げます。

この度、NGO と JICA との間の対話や連携を促進するために設置されております NGO-JICA 協議会 (*1) では、「開発教育」(下記3. ご参照) の普及推進に向けた NGO と JICA による今後の連携協力のあり方やその具体策を検討することを目的とした「開発教育推進のためのタスクフォース」(*2)を立ち上げ、全国各地で NGO や市民団体が実施している開発教育の現状や課題、NGO と JICA の連携状況に関する実態調査をすることとなりました。

本調査を通じ、NGO の開発教育推進に向けた現状や課題を整理し、有効な実施方法を探るとともに、開発教育における NGO と JICA の連携強化を図るための具体的なアクションを検討し、実現可能なものから実施していく予定です。

つきましては、下記の要領で、アンケート調査を実施させていただきたく、期限までにご回答をお願い申し上げます。

ご多用の中でのお願いとなりますが、何卒本調査の趣旨をご賢察いただき、ご協力いただきますよう重ねてお願い申し上げます。

－ 記 －

1. 調査の目的：

開発教育の普及推進における NGO や市民団体の現状や課題を確認し、有効な実施方法や他団体や JICA との連携強化を図るための具体的かつ実施可能な施策を検討するためのニーズや問題点などを明らかにすること。

2. 調査の内容：

主な調査内容は、以下の3点とします。

- ① NGO や市民団体による開発教育の現状や課題
- ② 開発教育における JICA との連携の現状や課題
- ③ 開発教育の普及推進に向けた展望や期待

3. 「開発教育」について：

本調査でいう「開発教育」とは、2015年2月に策定された「開発協力大綱」に明記された以下のような教育活動を意味します。

「学校教育を始めとする様々な場を通じて、世界に直面する様々な開発課題の様相および我が国との関係を知り、それらを自らの問題として捉え、主体的に考える力、また、その根本的解決に向けた取り組みに参加する力を養うため、開発教育を推進する。」

なお、「国際理解教育」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」等の名称で国内での教育活動を実施されている場合には、本調査でいう「開発教育」の中にも含まれるものとしてご回答ください。

4. アンケート対象団体：

- 1)全国ネットワーク NGOとその加盟団体、JANICの正会員・協力会員等をはじめ、『NGOダイレクトリー』に掲載している団体
- 2)全国各地で開発教育を実施する市民団体

5. 返送期限

2016年10月16日（日）までに、以下のサイト、もしくはこの後続く回答用紙よりご回答ください。

サイト：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSebT_ST20-D6ort_EbU_sPPKZRsfBiYphZpo1VSEPKEJeYobA/viewform

6. アンケート結果の報告・公表：

アンケート結果に基づいた本調査の結果につきましては、2017年1月頃に、NGO-JICA協議会のウェブ上で公開するほか、タスクフォースからの提案やNGO-JICA協議会の議論については、適宜ウェブ上でご覧いただけます。（なお、アンケート結果については本調査以外の目的には使用いたしません。）

http://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/

7. 問合せ先（およびアンケート送付先）：

〒112-0002

東京都文京区小石川 2-17-41-3F NPO 法人開発教育協会

「開発教育推進のためのタスクフォース」事務局担当（中村・伊藤）

TEL：03-5844-3630 FAX: 03-3818-5940 E-mail：main@dear.or.jp

※アンケートの内容やアクセス方法などについて、不明な点があれば遠慮なくお問い合わせください。

8. 注記

*1 「NGO-JICA協議会」については、以下のサイトをご参照ください。

http://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/

*2 「タスクフォース」については、以下のサイトをご参照ください。

http://www.jica.go.jp/partner/ngo_meeting/conference/h28_01/ku57pq00001tzxhy-att/document_01_04_02.pdf

以上

2) -3 先程の2)-1の質問で、「ア. できれば実施したい」と答えた方にお聞きします。どのような条件があれば実施できそうですか。該当する記号を選んでください。(複数回答可)

- ア. 開発教育に関する人材育成支援
- イ. 開発教育に関する情報提供
- ウ. 教材作成に関する支援
- エ. 開発教育に関する助成金や補助金
- オ. 担当者間のネットワーク構築
- カ. 学校教育に関する情報提供
- キ. 学校教育との連携支援
- ク. NGO との連携支援
- ケ. 地域におけるネットワーク構築
- コ. 全国各地の開発教育の実践の共有
- サ. 場所の提供
- その他(具体的に: _____)

開発教育を実施していない団体への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

.....

3) これ以降の設問は、開発教育を実施している団体にお聞きします。

貴団体では過去2年間(2014年4月~2016年3月)に以下の分野・テーマで教育・学習活動を行いましたか。該当する記号を選んでください。(複数回答可)

- ア. 世界の貧困問題
- イ. 世界の人権問題
- ウ. 世界の環境問題
- エ. 世界の平和問題(「軍縮」「反戦・反核」などを含む)
- オ. 世界の生活や文化
- カ. 世界の子どもや教育
- キ. 世界のジェンダー
- ク. 南北問題・南北格差
- ケ. 国際協力
- コ. MDGs(ミレニアム開発目標)、SDGs(持続可能な開発目標)
- サ. 持続可能な開発
- シ. 難民問題
- ス. 先住・少数民族
- セ. 多文化共生
- ソ. 人権・多様性・ダイバーシティ
- タ. 日本のライフスタイル
- チ. フェアトレード
- ツ. まちづくり・地域づくり
- テ. 日本国内の開発問題
- ト. ファシリテーション・参加型学習
- ナ. 地球市民・シティズンシップ・市民性
- ニ. 国際協力の仕事(キャリア教育)
- ヌ. その他(_____)

4) 貴団体で行った分野・テーマについて以下のような活動を実施しましたか。該当する記号を選び、その中の具体的な活動を選んでください。(複数回答可)

<活動内容>

- ア. セミナー・講演会・ワークショップ
- イ. 写真展・展示会・展覧会
- ウ. 講演会講師
- エ. ワークショップファシリテーター
- オ. 教材の作成・配布
- カ. 教材の販売・貸出
- キ. 資料・パンフレットの作成・配布
- ク. 資料の収集・閲覧・貸出
- ケ. 調査・研究
- コ. バザー・フリーマーケット
- サ. コンサート・演劇
- シ. スタディーツアー・ワークキャンプ
- ス. 途上国の産物の輸入販売(フェアトレード)
- セ. キャンペーン
- ソ. 政府・自治体・企業への提言活動(アドボカシー)
- タ. ネットワークづくり(国内・海外)
- チ. ボランティア・インターン育成
- ツ. 団体内部での学習会・研修会
- テ. その他(具体的に: _____)

5) 貴団体で行った教育・学習活動の対象者は誰ですか。該当する記号を選んでください。(複数回答可)

<対象者>

- ア. 幼児
- イ. 小学生
- ウ. 中学生
- エ. 高校生
- オ. 大学生
- カ. 専門学生
- キ. 教員
- ク. 会社員
- ケ. 保護者
- コ. 研究者
- サ. NGO/NPO
- シ. 自治体職員
- ス. 政治家・議員
- セ. 企業
- ソ. 貴団体の会員・支援者
- タ. 貴団体のスタッフ・ボランティア
- チ. その他(具体的に: _____)

6) 貴団体では開発教育について担当者を置いていますか。

ア. 専任のスタッフを置いている (置いている場合: 名)

イ. 兼任のスタッフを置いている (置いている場合: 名)

ウ. 専任・兼任のスタッフを置いていない

7) -1 貴団体の開発教育に関する 2015 年度の支出実績 (事務運営費・人件費を除外した活動・事業費) はおよそいくらくらいですか。

ア. 10 万円未満

イ. 10～50 万円未満

ウ. 50～100 万円未満

エ. 100～300 万円未満

オ. 300～500 万円以上

カ. 500 万円以上

キ. 1000 万円以上

ク. わからない

7) -2 全体決算の約何%を占めますか。

ア. 1%未満

イ. 1～5%未満

ウ. 5～10%未満

エ. 10～30%未満

オ. 30%以上

カ. わからない

7) -3 財源は、どこから得ていますか。(複数回答可)

ア. 自己財源

イ. 国の補助金・助成金

ウ. 民間の助成金

エ. 寄付

オ. 会費

カ. その他 ()

8) 貴団体では開発教育をいつ頃から始めましたか。

ア. 1980 年代以前

イ. 1980 年代

ウ. 1990 年代

エ. 2000 年代前半

オ. 2000 年代後半

カ. 2010 年代前半

キ. 2015 年以降

ク. わからない

9) 貴団体では、開発教育について、どのような団体と連携（協働・支援など）していますか。（複数回答可）

- ア. 保育園・幼稚園
- イ. 小学校
- ウ. 中学校
- エ. 高校
- オ. フリースクール
- カ. 塾
- キ. 大学
- ク. 専門学校
- ケ. 国際協力 NGO
- コ. ネットワーク NGO/NPO（国際協力 NGO センター/JANIC など）
- サ. 開発教育協会 NGO/NPO（開発教育協会/DEAR）
- シ. その他の NGO/NPO
- ス. 教員の研究会・ネットワーク
- セ. 青年海外協力隊 OV 会
- ソ. JICA
- タ. 国連関連団体
- チ. 自治体
- ツ. 教育委員会
- テ. 国際交流協会
- ト. 企業
- ナ. 省庁
- ニ. 連携していない
- ヌ. その他（具体的に： _____)

10) -1 貴団体では、開発教育の一環として、学校教育（小・中・高校）における取り組みに関わっていますか。

- ア. 関わっていない
- イ. 関わっている
- ウ. 今後関わる予定である
- エ. 将来も関わる予定はない

10) -2 先程の 10) -1 において、「関わっている」と答えた方にお聞きします。関わっているものを選んでください。（複数回答可）

- ア. 各教科教育
- イ. 各教科教育以外（総合的な学習の時間、道徳、学活など）
- ウ. ボランティア体験活動・奉仕活動
- エ. 進路指導・職業体験・キャリア教育
- オ. 修学旅行生の受入
- カ. スーパー・グローバル・ハイスクール
- キ. ユネスコスクール
- ク. 国際バカロレア
- ケ. 持続可能な開発のための教育（ESD）
- コ. 国際理解教育

- サ. 帰国子女教育
- シ. 異文化間教育／異文化理解教育
- ス. 消費者教育
- セ. 食育
- ソ. オリンピック・パラリンピック教育
- タ. 主権者教育・模擬投票
- チ. その他（具体的に： _____)

11) -1 貴団体では、開発教育の一環として、大学教育における次の取り組みに関わっていますか。

- ア. 関わっていない
- イ. 関わっている
- ウ. 今後関わる予定である
- エ. 将来も関わる予定はない

11) -2 先程の 11) -1 で、「関わっている」と答えた方にお聞きします。関わっているものを選んでください。（複数回答可）

- ア. 通常の授業（貴団体のスタッフが非常勤講師として授業を担当）
- イ. 通常の授業（貴団体のスタッフがゲスト講師として授業に招請）
- ウ. スーパーグローバル大学
- エ. グローバル人材の育成
- オ. 国際開発人材の育成
- カ. 教員、教育関係者の育成
- キ. ボランティア・インターンシップの受入（国内事務所や海外事務所）
- ク. スタディツアーやフィールドワークの受入
- ケ. 大学・学部等が主催する講演会やセミナーに講師として招請
- コ. その他（具体的に： _____)

12) 貴団体が開発教育に取り組む目的は何ですか。特に優先しているものを3つ選んでください。

- ア. 対象者に、開発・貧困・人権・平和などの地球的課題（開発問題）を理解してもらうため
- イ. 対象者に、貴団体で行っているプロジェクトを理解してもらうため
- ウ. 対象者に、貴団体で行っているプロジェクトに会員として参加してもらうため
- エ. 対象者に、貴団体で行っているプロジェクトに募金をしてもらうため
- オ. 対象者に、よりよい社会づくりに参加してもらうため
- カ. 対象者に、地球的視野をもった市民として、地球的課題に取り組んでもらうため
- キ. スタッフ・ボランティア・団体メンバー等の意識を向上させるため
- ク. スタッフや団体メンバーが参加型ワークショップの手法を学ぶため
- ケ. 日本の教育政策に影響を与えるため
- コ. その他（具体的に： _____)

13) 貴団体が開発教育を進めるうえで、次のような問題点がありますか。当てはまる記号を選んでください。(複数回答可)

- ア. 団体内の開発教育の優先順位が低い
- イ. 資金が足りない
- ウ. 開発教育を担える人材がいない
- エ. 開発教育を担う仲間がいない
- オ. どのように開発教育を行ったらいいかわからない
- カ. 「開発教育」という言葉がわかりにくい／その意味を説明しにくい
- キ. 「開発教育」の成果が見えにくい／評価しにくい
- ク. 学校などの教育現場とのつながりがない
- ケ. NGO などとのつながりがない
- コ. 活動する場所がない
- サ. その他(具体的に: _____)

14) 今後、開発教育を進める上でどのような支援があると進めやすいですか。当てはまる記号を選んでください。(複数回答可)

- ア. 開発教育に関する人材育成
- イ. 開発教育に関する情報提供
- ウ. 教材作成に関する支援
- エ. 開発教育に関する助成金や補助金
- オ. 担当者間のネットワーク構築
- カ. 学校教育に関する情報提供
- キ. 学校教育との連携支援
- ク. NGO との連携促進
- ケ. 他団体との連携支援
- コ. 地域におけるネットワーク構築
- サ. 全国各地の開発教育の実践の共有
- シ. 場所の提供
- ス. その他(具体的に: _____)

開発教育に関する JICA との連携について

貴団体では過去 2 年間に、開発教育に関して、JICA（各地域センターを含む）と事業連携や協力を行っていますか？または、今後行う予定ですか？

- ア. 行っている／行う予定がある→ 2) へお進みください。
- イ. 行っていない／行う予定がない→ 1) へお進みください。

.....

1) 「行っていない／行う予定がない」とお答えの団体様にお聞きします。

貴団体が開発教育に関して JICA と連携しない理由は何ですか？当てはまる記号を選んでください。（複数回答可）

- ア. JICA の開発教育事業について情報が無い
- イ. どのような連携ができるか、分からない
- ウ. 連携の必要性を感じない
- エ. その他 ()

.....

2) 「行っている／行う予定がある」とお答えの団体様にお聞きします。

貴団体が JICA と行った事業連携や協力について、具体的な実施内容（企画、広報、実施、事後、評価、講師派遣など）も含めて教えてください。複数ある場合はそれぞれご記載ください。

2) -1 プログラム名:

2) -2 実施時期:

2) -3 協力内容:

3) 貴団体が JICA と連携して良かった点、成果などはありますか？もしあれば、具体的に記載ください。

4) 貴団体と JICA との連携について課題や問題だと認識されていることはありますか？もしあれば、具体的に記載ください。

5) 上記4)で「ある」とお答えの方は、その問題解決やよりよい連携のために、実施されていることはありますか。また、開発教育の普及推進に向けて、JICA への要望はありますか。もしあれば具体的にご記載ください。

6) その他、タスクフォースへの要望等あれば、ご記入下さい。

ご協力ありがとうございました